## 船頭さん

補作•河村光陽作曲 武内俊子作詞/峰田明彦戦後

ソ元年今村 レ気は年の いと六渡 ギッシナへ ッぱてのわ チいも おた ラ櫓がお爺し ッし船さの チなをん うる 船頭さんは ぐ時は ギッ チラコ

向今ぬ雨 レう朝れの 牧もて降 が場(まきば)へ いかわいい が場(まきば)へ がある日も に お がわいい お ッチラギッ お岸爺か チラーギッチラコ 乗せてった (こうま) を二匹 が岸

ソどみ渡川 しうんすは ギん おさ ッとゆ爺ざ チれさな ういゆんみ つれ 川\ ギて渡 波 ッ渡る チラコ

## 船頭さん

補作·河村光陽作曲 一 武内俊子作詞/峰田明彦戦後

渡 た

今 年 六 船 頭さ お爺さん

年はとっ も

お船をこぐ時 は

気 つ ギッ ぱ チラギッチラ 櫓が なる

ギッチラコ

## 船頭さん

補作·河村光陽作曲 武内俊子作詞/峰田明彦戦後

2

雨の降る日も

岸から岸へ

ぬれて船こぐ

お爺さん

令 朝もかわ

仔馬 (こうま) を一元

向う牧場(まきば) 乗せてった

ギッチラコ ギッチラギッチラ

はきらきら

かんなにこにこお爺さん さざなみ小波

どうも って渡る 御苦労さんと

ギッチラコ ソレ ギッチラギッチラ